

ドリームハロー オート装置

取扱説明書・部品表

製品コード K97016
型 式 MTM-251HR20

●適応トラクタ

ミツビシ▶MT 170/190/200/220/240
(MAC仕様) 161/181/201/221/241
226/246/266/286/286H/306/336
231/251/271/291/311/331
337/367/338/368/408/468/508
MKM 45/55/65/75/85/100/120/140/160
GCR 55/65/75/85/100/120/140/160
クボタ▶KG 55/65/75/100/120
850/1000/1200
ヤンマー▶CT 1400/1600
中セキ▶TAC 45/55/65/75/85/100/120
TAC 553/653/753/853/1003/1203/140

●適応ドリームハロー

NSM, NSF, NS/10, 20タイプ
NRM, NRF, NR/10, 20タイプ

83/3 116000

△注意

この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 間違えた使い方をするとう事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

本製品の使用目的

- このオート装置は、ハローのレーキの動きをセンサで感知し、その信号をトラクタに伝え、ハローの深さの調節を、トラクタの油圧コントロールでおこない、耕深を一定に規制するものです。使用目的以外の作業には、決して使わないでください。
- オート装置は、決められたトラクタ型式と作業機の型式に合うように設計してあります。それ以外での使用は、しないでください。
- 本文中のハローの名称は、ドライブハロー、ウィングハローの両方を示します。

安全に作業をするために

△注意

- トラクタの取扱説明書「油圧コントロール」の項をよく読んでください。
- 作業機の取扱説明書をよく読んでください。
- オート装置の調整をするときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- オート装置の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にしてください。
- オート装置の調整で、作業機を上げ下げするときは、周囲の人や物に注意してください。
- オート装置の調整中に、突然作業機が上下するおそれがあります。十分注意してください。
- トラクタのまわりや作業機との間に、人が入らないようにしてください。
- オート装置の調整がすんだら、適正な工具を使い、確実にボルト・ナット類を締め付けてください。守らないと、傷害事故や機械の損傷につながります。

組立

オート装置の組付けは、部品表を参照して組立ててください。文章中の番号は部品表の番号です。

△注意

●オート装置を組付けるときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷の原因になります。

●オート装置を組付けるときは、ハローにスタンドを付け、レーキをフリーにしてください。

- (1) 土引きハンドルを解除し、レーキをロックしないで代かき作業状態にしてください。
- (2) レーキが他のものにふれていないで、自然に垂れ下がっているようにしてください。

- 1 WAS、HLシリーズのハローは、中央レーキの6ページ図の位置に①止ピンHR8を取付け、②平座金③割りピンで抜け止めをします。③割りピンは④の穴へ取付けます。

補足

WBS、WGS、WRS、WMD、WLS、HVSシリーズのウイングハローおよびHS、HSM、HSF、HR、HRM、HRF、HRHシリーズのドライブハローには、止ピンHR8が装備されています。

- 2 ハローの耕耘部カバー中央より左側にあるカラーキヤップを外し、そこへ④センサ取付台を、⑤ボルト⑥ばね座金で取付けます。

補足

⑦ニューマックセンサー⑧センサベース⑨ボルト⑩平座金⑪ばね座金⑫ナット⑬MACレバーK⑭六角穴付止めねじ⑮ナット⑯平座金⑰E形止め輪⑱小形ボルト⑲ばね座金付小形ナットは、組付けてあります。

- 3 ⑱プッシュロッド540を①止ピンHR8へ取付け、②割りピンで抜け止めをします。

補足

⑱プッシュロッド540には②①ロッドタンブラを、②平座金③小形ナットで組付けてあります。

- 4 ②①ロッドタンブラを⑬MACレバーKの下記の穴位置へ取付け、②④Rピンで抜け止めをします。

WAS
WRS-10 型ハロー ⇒ ①
WMD
WLS

H S
HSM
HSF HRH 型ハロー ⇒ ②
H R WBS-05
HRM
HRF

H L
WBS-00 型ハロー ⇒ ③
WRS-00
WGS

HVS 型ハロー ⇒ ④

- 5 ⑦ニューマックセンサーのコネクタへ、②⑦延長ハーネス②⑥ハーネスJの順で、コネクタを接続します。

補足

ハーネスの長さに余裕がある場合は、②⑦延長ハーネスを外してもかまいません。

調整のしかた

△注意

- トラクタの取扱説明書「油圧装置の取扱い」の項をよく読んでください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。
- オート装置の調整をするときは、トラクタのエンジンを停止し、メインスイッチを「切」にして、おこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。

オート装置を使用する場合の操作・調整は、トラクタの取扱説明書をよく読み、おこなってください。

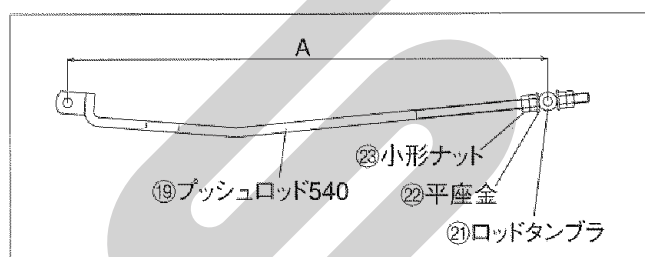
① トラクタにハローを装着します。

ハローの取扱説明書をよく読み、トラクタにハローを装着してください。

- (1)ハローのスタンドを外し、トラクタのポジションコントロールレバーを操作し、ハローのレーキを地面から2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。
- (2)②⑥ハーネスJのコネクタを、トラクタのコネクタに接続します。

② プッシュロッド540の参考長さ

⑩プッシュロッド540の参考長さは、下記の通りです。最終の調整は、「トラクタのスイッチの使い方」の中の「①トラクタとの初期設定」の項で、必ずおこなってください。



A寸法

HVS 型ハロー.....435mm

H L
WBS-00 型ハロー.....440mm
WGS

H S
HSM WAS
HSF WRS-00 型ハロー.....455mm
H R WLS
HRM
HRF

WBS-05 型ハロー.....460mm
HRH

WRS-10 型ハロー.....490mm
WMD

③ ハーネス長さの調整

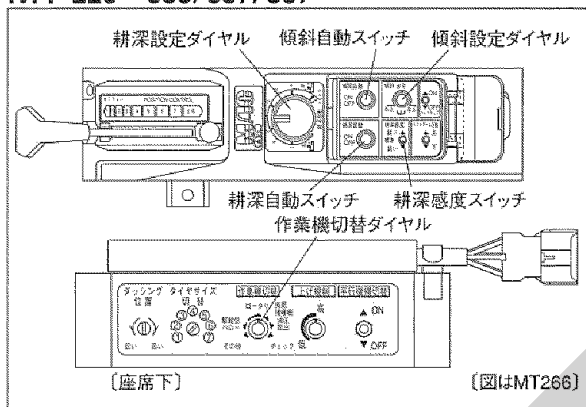
トラクタのエンジンを始動し、ポジションコントロールレバーで、ハローを上下し、⑦ニューマックスセンサーのハーネスと②⑦延長ハーネス②⑥ハーネスJが、車輪やジョイントに巻き込まれたり張り過ぎないように長さを調整し、②⑤結束バンドでハローのミッションフレーム部へ止めて、レーキを2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。

トラクタのスイッチの使い方

トラクタの取扱説明書「マイコン装備機の取扱い」の項をよく読み、操作してください。

スイッチの名称、配置、形状、調整量は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書をよく読み、操作してください。

MT 170~240/161/181/201/221/241
MT 226~336/337/367



1 トラクタの初期設定

- (1) 座席下にあるパネルの作業機切替ダイヤルを「チェック」にします。
- (2) キースイッチを「ON」にします。(エンジンはかけない)
- (3) トラクタのメータパネルの、耕深自動ランプの点灯を確認します。
 - 点灯していれば、設定完了です。
 - 点灯していない場合、⑬MACレバーKを、耕深自動ランプの点灯する位置まで、⑲プッシュロッド540の長さで調整します。

2 作業機切替ダイヤルの位置

「駆動型ハロー」の位置にします。

3 耕深感度スイッチの位置

「標準」の位置にします。

補足

使用時の耕深感度が、敏感過ぎるようでしたら「鈍い」に、鈍感なようでしたら「鋭い」に切替えてください。

- 4 耕深自動スイッチと傾斜自動スイッチを「ON」にします。

5 下げ速度の調整

トラクタのエンジンを始動し、クイックアップスイッチまたは、ポジションコントロールレバーにより、ハローを上げ下げし、最上げ位置から約2秒で地面に爪が接地する位に、下げ速度を作業機降下速度調節グリップで調整します。

補足

ロータリで調整してある場合は、そのまま使用してください。

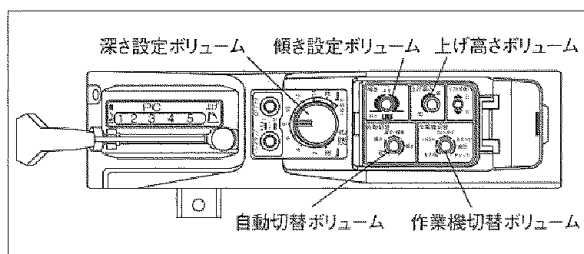
6 作業開始

ハローを一度最上げにしてから作業に入ってください。

7 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

KG 55~120/850~1200
 CT 1400/1600
 TAC 45~120/553~1203/140
 GCR 55/65/75/85/100/120/140/160
 MKM 45/55/65/75/85/100/120/140/160
 MT 231/251/271/291/311/331/338~508



1. トラクタとの初期設定

- (1) サイドパネルの作業切替ボリュームを「チェック」にします。

GCR 85~160、MT 508、KG 850~1200、
 TAC 853~1203/140 は、マックビジョンボリ
 ユームを「点検」にします。

- (2) キースイッチを「ON」にします。(エンジンはかけ
 ない)

- (3) トラクタのメータパネルの、深さ自動ランプ
 の点灯を確認します。

- 点灯していれば、設定完了です。
- 点灯していない場合、⑬ MACレバーKを、
 深さ自動ランプの点灯する位置まで、⑯ プ
 ッシュロッド540の長さで調整します。

- (4) 設定完了後、いったんキースイッチを「OFF」
 にします。

- (5) GCR 85~160、MT 508、KG 850~1200、
 TAC 853~1203/140 は、マックビジョンボリ
 ユームを「作業モード」にします。

2. 作業機切替ボリュームの位置

「ハロー」の位置にします。

3. 耕深感度

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのま
 ま使用してください。

4. 耕深速度

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのま
 ま使用してください。

5. 傾斜感度

「5」に設定します。

6. ダッシング高さ

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのま
 ま使用してください。

7. 自動切替ボリューム

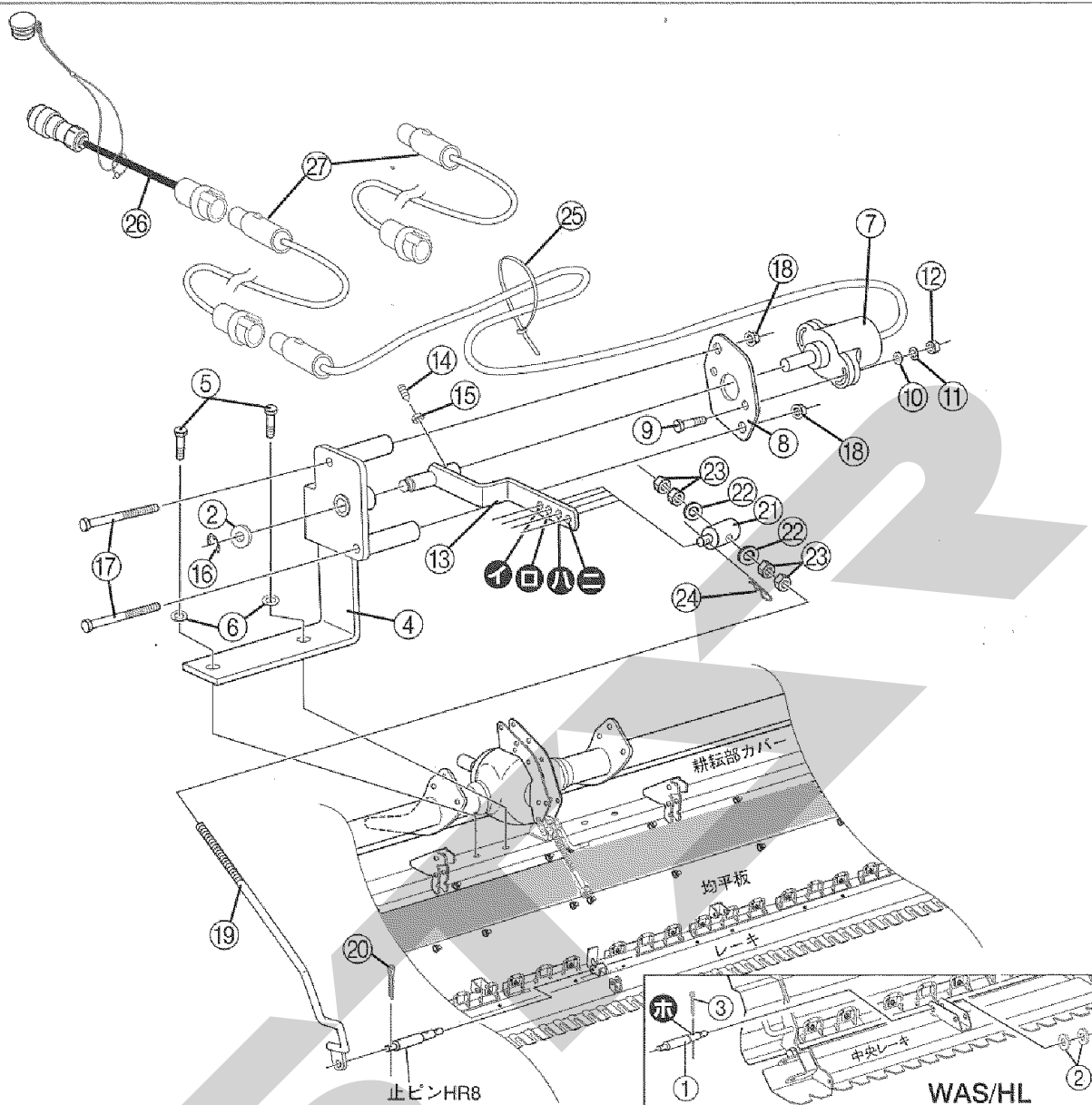
「深さ」または「深さ・傾き」の位置にします。

8. 作業開始

ハローを一度最上げにしてから作業に入っ
 てください。

9. 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に
 注油し、サビを防いでください。



No.	部品番号	部 品 名	数 量	備 考	No.	部品番号	部 品 名	数 量	備 考
1	4647 121000	止ピンHR8	1		15	0410 005001	ナット M5	1	
2	0930 012000	平座金 M12	3		16	0800 300010	E 形止め輪 E-10	1	
3	0832 103225	割りピン 3.2×25	1		17	0320 008080	小形ボルト M8×80	2	
4	8373 111000	センサ取付台	1		18	0490 008001	ばね座金付小形ナット M8	2	
5	0310 010020	ボルト M10×20	2		19	8373 113000	プッシュロッド540	1	
6	0931 010000	ばね座金 M10	2		20	0832 102520	割りピン 2.5×20	1	
7	5283 080500	ニューマックセンサー	1		21	5283 010300	ロッドタンブラ	1	
8	3099 102000	センサベース	1		22	0930 008000	平座金 M8	2	
9	0310 006020	ボルト M6×20	2		23	0420 008001	小形ナット M8	4	
10	0930 006000	平座金 M6	2		24	0832 200008	Rピン A-8	1	
11	0931 006000	ばね座金 M6	2		25	0940 210370	結束バンド PR-370	2	
12	0410 006001	ナット M6	2		26	3590 103000	ハーネス J	1	12287741000
13	8373 112000	MACレバー-K	1		27	8183 115000	延長ハーネス	2	
14	0381 005010	六角穴付止めねじ M5×10	1						

※部品注文の際には、部品番号の頭にE Sをつけてご注文お願い致します。 例) ES4647 121000